

もってかえる・・・！

校長 工藤 誠志

「こうちょうせんせい」と小学部5年生の女の子が校長室の私に声をかけてくれました。

「はい。なんですか？」と、私は返事をしました。

「これ、つかまえた。」と言って、指でつまんだものを見せてくれたのです。

それは若草色のまあるいものに見えました。

「どーれ、よく見せて」と、私は右手を広げて差し出しました。

「はい、どうぞ」と、それを私の手のひらに置いてくれたのです。

私の手のひらに乗っていたのは、カエルでした。

そのカエルは、私の手のひらの上でじっとしていました。

カエルが動き出そうとした瞬間に女の子はさっと指で捕まえました。

女の子は、「またね！」と校長室から出て行きました。

そして、下校時刻。

玄関でその女の子に会いましたが、手にはカエルはいません。

「あれっ？ カエルはどこかな？」と聞くと、女の子は自分のかばんを指さしました。

すると、「放課後に行く施設の人に見せるんですって。」と担任が話してくれました。

女の子は、「そうなの！」と言って帰って行きました。

そう言えば、先週末から毎晩、田んぼで夜を通してカエルが大合唱大会を開催していることを思い出しました。

カエルが歌ったり話をしたりしていると思ったら、なんだかうれしくなってきました。

お子さんは、学校であった勉強や友だちのことをたくさん覚えています。

家に持って帰る話しはたくさんあるはずです。

ご家庭で連絡帳を見ながらお子さんに聞いてみてください。

「〇〇やったの？」「どんな気持ちだったの？」「難しかったの？うれしかった？」

すぐに返事を返してくれない子もありますが、話すまで、返事やうなずき等のなんらかの行動があるまで待ってあげてくださいね。

5月にぐ、ぐ～っと成長している子も多いので、ご家族でのやりとりが期待できます。

お子さんと話ができたことを聞けるのを楽しみにしています。

